隔月誌（2021年7月発行）

株式会社かなえるリンク

かなえるレター

KANAERU LETTER

vol.50
2021



今号の表紙
「課題と練習」

かなえるリンク　検索

訪問看護事業 ／ 介護予防訪問看護事業（訪問リハビリ含む）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション	大阪市西区南堀江1-16-15 名城ビル4階 D号室	☎06-6531-3500
かなえるリハビリ訪問看護ステーション住之江	大阪市住之江区粉浜3丁目15-9 コテジャルダン203号室	☎06-4701-8554
かなえるリハビリ訪問看護ステーション西淀川	大阪市西淀川区姫島1-18-12 ロワール三恵1F	☎06-6476-3703
かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田	岸和田市西之内町9-67 2階	☎072-423-0567
かなえるリハビリ訪問看護ステーション都	京都市中京区西ノ京池ノ内町19-11 御池KSビル202号室	☎075-803-0536
株式会社かなえるリンク	大阪市西区南堀江1-16-15 名城ビル4階 A号室	☎06-6531-3505

株式会社 かなえるリンク
KANAERU LINK

— ご利用者とともに —



言語聴覚士の「ことば」のリハビリ

かなえるリハビリ訪問看護ステーション住之江　言語聴覚士　稲垣

「脳梗塞」発症と「出産」

I様は昨年6月、20代という若さで脳梗塞を発症されました。また発症した当時、I様は妊娠中でありました。幸い経過は良好で、脳梗塞を発症してから約1ヶ月後、無事に元気なお子様を出産されました。出産から約2ヶ月後に退院され、訪問リハビリのサービスが開始になりました。

「失語症」への「リハビリ」

手足の麻痺といった身体的な後遺症はありませんでしたが、失語症の症状が残りました。失語症とは、脳卒中や事故などの外傷により、大脳の〝ことば〟をつかさどる部分が損傷することで、ことばを理解したり話したり、文字を読んだり書いたりするといった、機能全般が低下する障がいです。

話したいことはわかっているけれど、ことばが出ない。言い間違えてしまう、聞こえているけれど意味が分からないなど、私たちが外国語を話す時に、うまく言えなかったり、1度で聞き取れなかったりするのと似ています。

リハビリを始めた当初は、簡単なことばでも聞き間違えたり、単語をたどたどしく話される状態で、リハビリの内容もカードに描かれた絵の名前を言うといった練習から行っていました。

ご自宅でもスマホの音声読み上げ機能を利用して、聞き取りの練習をされるなど、リハビリ中に行った内容を自主トレーニングされていました。症状についても、ご自身で調べたり、ご質問を受けることも多かったです。前向きに取り組まれたこともあり、I様は順調に回復され、現在では日常での会話はかなりスムーズに話せるようになりました。

実際の困りごとに対する「リハビリ」

最近は、I様が日常生活の中で実際に困ってることやしたいことを中心としたリハビリを行っています。

たとえば、買い物の支払いの際、言われた金額を1度で聞き取れないため、「いつもお札を出して、財布の中がお釣りの小銭だらけになってしまう…」ということでしたので、レプリカのお金を使って練習したり、電話での受け答えが難しいとのことで、実際の電話を使って練習をしています。お子さんが保育園に通い始められてから、ご家族以外との関わりが増えてきました。周囲にことばの症状について、どう説明すれば理解してもらえるのか？と戸惑われることもあり、その都度、説明の仕方をお伝えしています。

I様は、お母様と同じ訪問介護の仕事での社会復帰を目指しています。今年から、介護資格の勉強も始められました。子育てと勉強とリハビリを3つ同時に成し遂げることに一生懸命なI様とご家族のサポートを今後も続けていきたいと思います。

（言語聴覚士　稲垣）



◀宿題として毎日つけていただいている日記



▼文法の問題プリント

▶2020.6月	脳梗塞発症
▶2020.7月初旬	出産
▶2020.8月下旬	退院
▶2020.8月下旬	訪問リハビリサービス開始

リハビリ 豆知識

夏バテ防止の運動



理学療法士
並木（なみき） 克也（かつや）

『汗腺機能』って知っていますか?『汗腺機能』とは汗をかく機能のことで、人は汗をかくことで体温を一定に保とうとする働きがあります。この『汗腺機能』を適度な運動（汗がじわっと滲む程度で翌日に疲労感が残らない負荷量の運動）で向上させることが夏バテの防止に有効だと言われています。

『汗腺機能』を向上させる適度な運動、『立ち座りの運動』

『汗腺機能』は常に涼しい環境や快適な生活を送り続けると衰退していきますので、
1日10回程度、『立ち座りの運動』を無理はせずに続けてみましょう。



注意点

①普段利用されている椅子を用いて実施します。
②反動を使うのではなく両手を膝の上に置き立ち上がります。
③可能な限り体を伸ばして立位姿勢を保持します。
④勢いよく座らないようにゆっくり座りましょう。

コロナ禍でなかなか外出が難しいため、小さなことからコツコツと積み重ねて!!
夏に打ち勝つ身体を作っていきましょう!!

ご利用者「投稿コーナー」



作品 「ちりめん細工」

大阪市
H様/70代
（女性）

お孫さんへのプレゼントをきっかけとして、
ちりめん細工を始められたH様。
今では毎日の楽しみとなり、
おうち時間も充実したものとなっているそうです。
今回は夏をイメージした作品となっています。

担当: 理学療法士　小西







◀ちりめん細工の
制作場面

ご利用者からの”投稿募集”

あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?詳細は郵送、FAX、メール、
または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。